

## 疑似体験教材 1 「検索サイト」

1. 対象 小学校高学年
2. 指導目標 インターネットには自分たちにふさわしくないページも存在することを知らせると共に、ふさわしくないページを見ないようにする態度を育てる。
3. 授業展開

段階	学習活動	留意点
導入	検索サイトを利用した経験について話し合う。	役に立ったことや困ったことなど、自由に発言させる。
展開	<p>○疑似体験 疑似体験教材 1 「検索サイト」で、ネットワーク利用を疑似体験する。</p> <p>○課題提起 1 インターネットで情報を検索するときには、どんな点に気がついたらいいでしょうか。</p> <p>○課題提起 2 自分たちにふさわしくないページに出会ったら、どのようにしたらいいと思いますか。</p> <p>○解説 解説ページを参照し、自分たちにふさわしくないページを見ないようにする態度が大切であることを再認識する。</p>	<p>自分たちにも起こりうることであることを認識させる。</p> <p>疑似体験の中でどうすべきか悩んだことを思い浮かべさせる。</p> <p>フィルタリングシステムにも、簡単に触れるようにする。</p>
整理	<p>○自分たちの取るべき態度について、全体で話し合う。</p> <p>○ワークシートに授業の感想を書き、本時の学習をまとめる。</p>	ネットワークを気持ちよく使っていきたいとする感想も引き出したい。